

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	釧路町児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 4日 ～ 2025年 11月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32 (回答者数)	28
○従業者評価実施期間	2025年 11月 4日 ～ 2025年 11月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20 (回答者数)	20
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達支援に精通したスタッフや言語聴覚士等の専門職が在籍し、お子さん一人ひとりの発達段階や特性に応じた個別・小集団支援を継続して行っています。 専門的な視点に基づいた支援計画を立案し、日々の支援に反映させながら、家庭と連携した一貫性のある支援を提供できる体制が整っています。	日々の支援の振り返りや職員間の情報共有を通して、お子さんの変化や課題を丁寧に捉えることを意識しています。また、専門職の助言を活かし、環境設定や関わり方を柔軟に調整することで、お子さんが安心して取り組める支援に努めています。	支援内容や支援の意図について、保護者により分かりやすく伝える工夫を行い、家庭との連携をさらに深めていきます。また、職員の学びや振り返りの機会を継続的に確保し、支援の質の向上に繋げていきます。
2	保護者との日常的なやり取りや面談を通して、お子さんの様子や支援内容を丁寧に共有し、信頼関係を大切にしたい関わりを継続しています。	支援内容が家庭や他の生活場所に繋がるよう、保護者との情報共有を意識しながら支援を行っています。	保護者同士が気軽に情報交換できる機会や、参加しやすい形での情報提供のあり方について検討していきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民や地域との交流については、引き続き十分な機会を確保できておらず、地域に開かれた事業運営という点で課題があります。	地域交流の企画や調整に十分な時間を確保することが難しい状況が続いています。また、安全面や支援体制を考慮すると、交流方法について慎重な検討が必要であることも要因の一つとなっています。	関係機関や地域資源との情報共有等、無理のない形での地域との関わり方を検討していきます。
2			
3			